

中経 論壇

経営者 支援NPOクラブ
監事

中谷 兼武



マスク着用の基準は何か」と、多くの批判が上がったことが記憶に新しい。

今年の梅雨は例年より早く6月下旬に明け、近年にない猛暑の日が続いている。この猛暑による熱中症で、高齢者子供が病院に搬送されたり、また死亡する例が連日報道され、メディアは熱中症予防を訴えている。

コロナ感染予防のマスク着用中の熱中症対策として、政府の「メリハリのあるマスク着用で熱中症予防を」というコメントに対し、教育現場などから、「メリハリのあるマ

多くの批判に対し、政府は、教育現場では「体育や屋外授業ではマスクを着けない」、また一般論として「屋外等混み合わない箇所では、熱中症予防のためマスクを着けな

い」との指針を打ち出した。マスク着用の危険性に注意喚起がなされてから、登下校時の小中学生を注意深く観察すると、炎天下でも全員マスクを着用しているし、市中を歩く人も炎天下なのにマスク姿である。息苦しくないのかと

メリハリのあるマスク着用

思ってしまう。マスクという言葉から、中小企業経営の体験を振り返った。メリハリのある経営とは、事業・製品の推進、投資、そして人材登用の3点にメリハリをつけることである。例えば、メリハリのある事業・製品の推進では、将来性及び収益面からのきいた歌い方」

「メリハリのある」となる。経営にメリハリをつける」など、
「メリハリ」はよく使われている。改めて広辞苑で調べると、「減り張り・乙張り：ゆるむことと張ること。特に邦楽で音の抑揚を言う」とあり、音の高低、強弱に使われている事を初めて知った。
今回、「メリハリ」という言葉から、中小企業経営の体験を振り返った。メリハリのある経営とは、事業・製品の推進、投資、そして人材登用の3点にメリハリをつけることである。例えば、メリハリのある事業・製品の推進では、将来性及び収益面からのきいた歌い方」

企業経営、人生も同じ

リテイライフのため、「メリハリ」を大切にしていきたいと思うこの頃である。